

いんさい

議会だより

No.180

2017
第1回定例会

会期 2月15日
～3月16日



あふれる笑み

(小林北小学校入学式より)



いんざい君© 2011 Inzai City

- 平成29年度歳入歳出予算概要 P2～5
- 一般質問(会派7人・個人7人) P7～18
- 議案と審議結果一覧…………… P19
- 行政視察に来庁・議長あいさつ・編集後記…………… P23
- 予算審査常任委員会審査結果 P6
- 委員会視察報告…………… P18
- 各常任委員会の審査…………… P20
- 議員の出欠簿を公開します… P22
- 市民の声…………… P24

●発行/千葉県印西市議会
●TEL.0476(33)4614

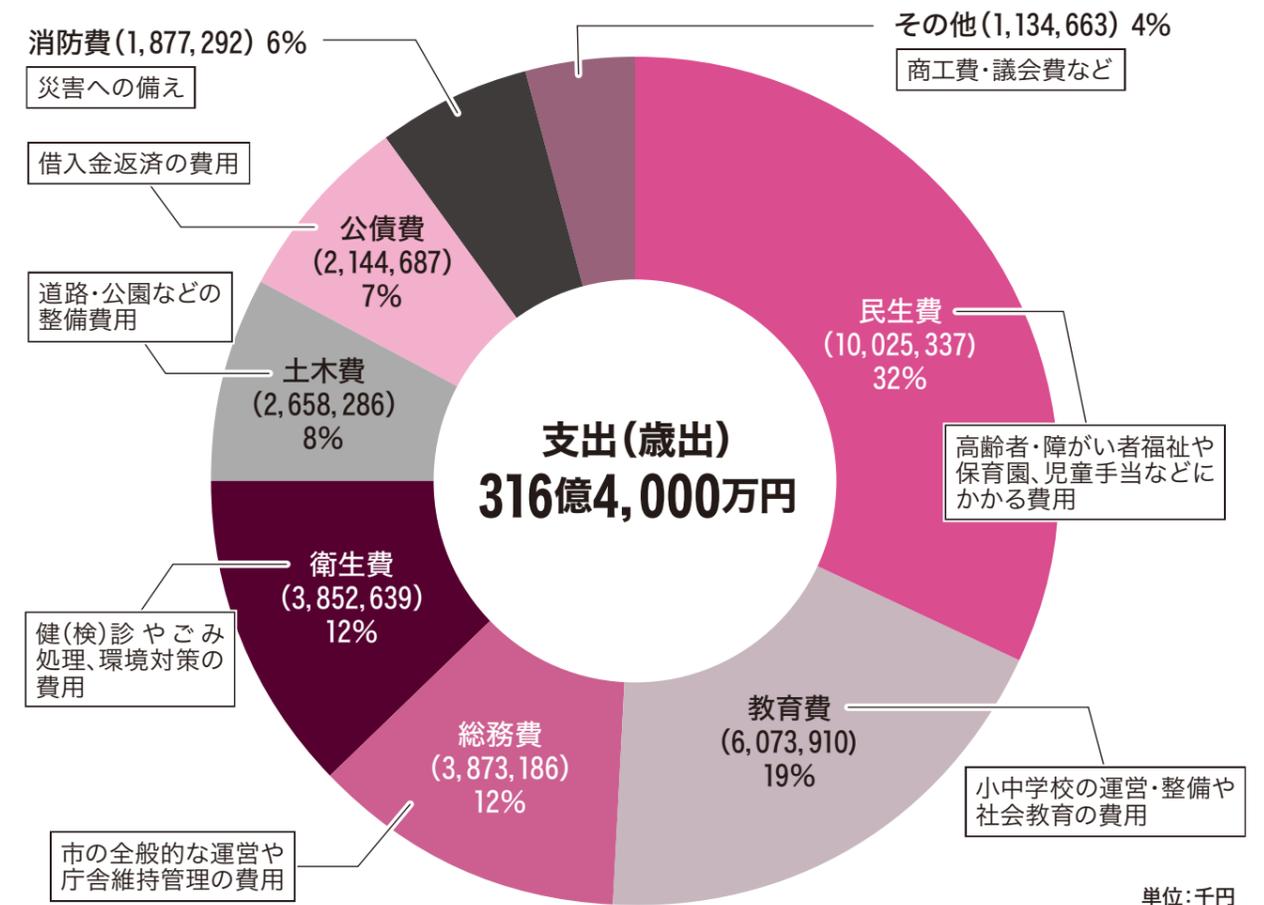
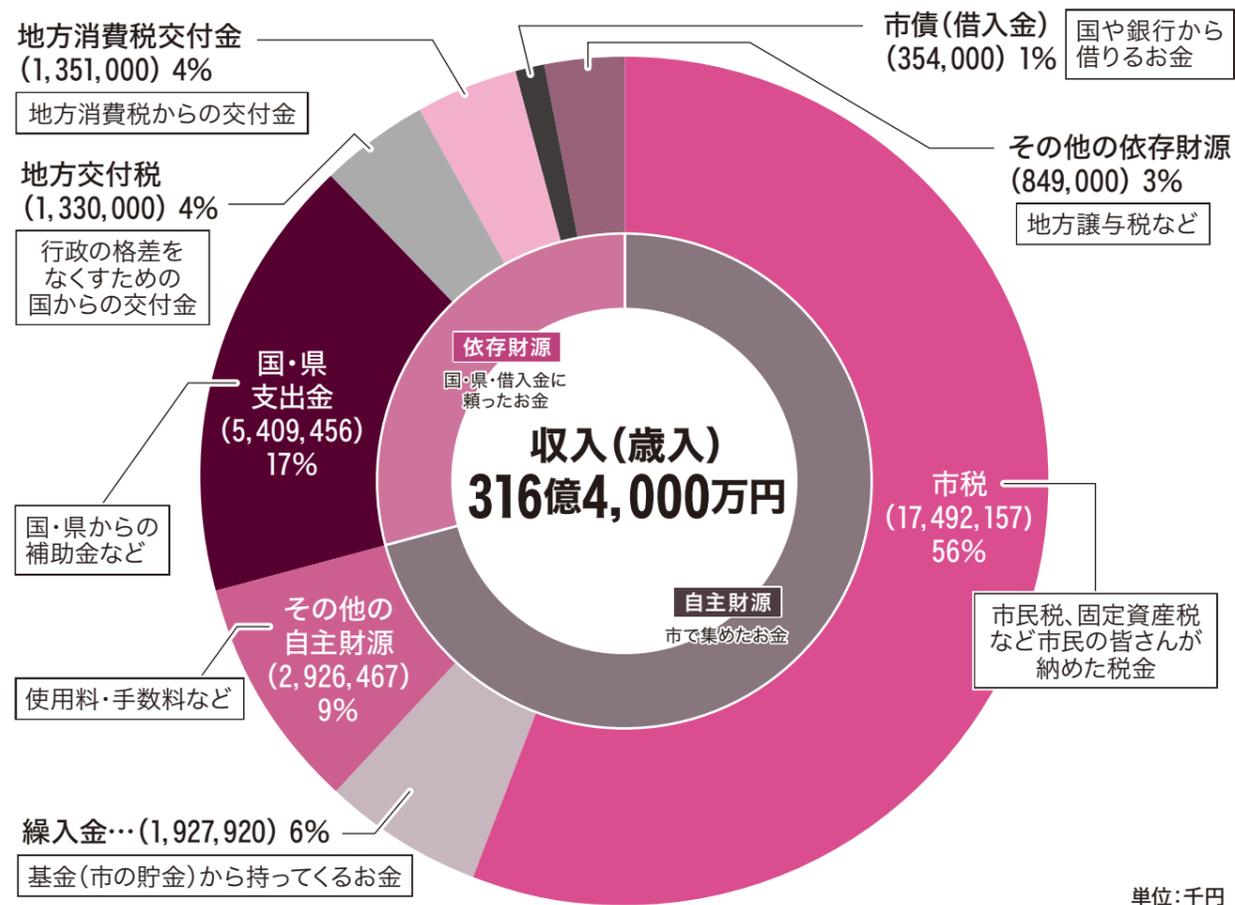
●編集/議会だより編集委員会
●FAX.0476(42)5299

●〒270-1396 印西市大森2364-2
●メールアドレス gikai@city.inzai.chiba.jp

平成29年度一般会計予算

316億4,000万円 (前年度比9.9%、34億8千万円減)

財政状況は厳しくとも、市民サービスの更なる向上を！



平成29年度各会計の予算規模

会計区分	平成29年度	平成28年度	増減額	増減率
一般会計	316億4,000万	351億2,000万	△34億8,000万	△9.9%
特別会計				
国民健康保険特別会計	97億1,059万	97億3,570万	△2,511万	△0.3%
下水道事業特別会計	15億5,775万	16億9,378万	△1億3,603万	△8.0%
介護保険特別会計	49億5,302万	46億5,380万	2億922万	6.4%
後期高齢者医療特別会計	6億9,101万	6億6,648万	2,453万	3.7%
水道事業会計	10億1,949万	8億1,777万	2億172万	24.7%
特別会計等合計	179億3,185万	175億6,753万	3億6,432万	2.1%
一般会計含む総合計	495億7,185万	526億8,752万	△31億1,567万	△5.9%

一般会計における将来の財政負担(借入金)と基金積立金(貯金)の見込み

項目	金額 (千円)	市民一人当たり
1. 財政負担		
◎地方債(借入金に相当)	166億1,428万	17万1,000円
◎債務負担行為(将来の支払約束)未払残高	95億796万	9万7,800円
財政負担合計	216億2,224万	26万8,800円
2. 基金積立金		
◎財政調整基金(貯金に相当)	78億4,172万	8万700円
◎減債基金(借入金を返済するための貯金)	1億5,057万	1,500円
◎特定目的基金(特定の事業に使うための貯金)	29億1,082万	2万9,900円
基金積立金合計	109億311万	11万2,100円

● 予算審査常任委員会 ●

29年度

注目事業

新規事業や拡充事業を中心に注目事業をご紹介します。

※予算額は29年度の金額のみです。複数年にわたる事業の場合事業総額ではありません。

高校生等医療費助成制度

中学生までだった医療費助成を18歳まで拡大。

総事業費 3,095万4千円
印西市の負担額 3,095万4千円

防災の取り組み

総事業費 1億8,398万8千円
地方債 3,780万円、
県の補助金 349万3千円、
印西市の負担額 1億4,269万5千円

消防団・防災井戸整備事業など

地籍調査事業に要する経費

総事業費 749万4千円
印西市の負担額 749万4千円

コンビニ交付サービスの実施

総事業費 464万4千円
印西市の負担額 464万4千円

東京オリンピック・パラリンピック誘致等推進に要する経費

総事業費 592万円
印西市の負担額 592万円

小・中学校の施設改修、教材整備事業

原小学校校舎増築工事設計業務委託など

総事業費 10億8,920万3千円

教育施設整備基金繰入金 7億280万円
印西市の負担額 3億8,640万3千円

鳥獣被害対策事業

総事業費 2,768万2千円
県の補助金 841万円6千円、
印西市の負担額 1,923万6千円、
手数料 3万円

有害鳥獣、特にイノシシについては捕獲の他、被害地域が一体となって防除対策や生息環境管理を行う体制を構築し総合的な取組を行っていく。

予算審査常任委員会審査報告

■平成28年度

補正予算審査の件

平成28年度印西市一般会計補正予算（第5号）、同国民健康保険特別会計補正予算（第2号）、同介護保険特別会計補正予算（第4号）及び同後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）の5議案は、原案通り可決。委員会における質疑を要約し掲載します。

■一般会計

Q 防災対策費の減額理由は。

A 電気料金の月額基本料の減及びLED化による契約容量の変更によるものです。

■国民健康保険特別会計

Q 保健給付費1億8千万円増の理由は。

A 保険給付費決算見込みより支出が多くなったため、不足分1億8310万3千円の補正をお願いするものです。

■後期高齢者医療特別会計

Q 健康診査委託料の減額理由は。

A 健康診査2500名に対し実績が2218名と見込みより少なかったためです。

し実績が2218名と見込みより少なかったためです。



ます。

Q コンビニ交付についての費用は。

A コンビニ交付を7月3日から開始するため、運営負担金として9か月分225万1千円を計上しました。

Q 民間保育園の助成に関する拡充事業についての内容は。

A ①乳児、障害を抱える子どもの受け入れに対する補助基準を見直し、市単独分を上乗せするため1960万円②保育士の宿舍借り上げ支援事業に対する新規補助に約2800万円③保育士雇いあげ強化事業に要する経費に対する新規補助に3322万5千円。

Q 中小企業資金融資事業の拡充内容は。

A 創業資金利子補給補助金90万8千円、小規模事業者経営改善資金利子補給補助金81万8千円を新規事業として計上しました。

Q 住生活基本計画推進事業の86万4千円増額の理由は。

A マンション管理士派遣事業を2回増、マンション管理

に関する講習会を3回増で10万円。耐震相談会業務委託1回増に1万4千円、新規に空き家対策に関する実態調査業務委託に75万円です。

Q 中学校施設整備改修事業の拡充事業については。

A すでに終了している船穂中学校・木刈中学校を除いた7校についてトイレ改修設計業務委託料として540万円を計上しました。

■下水道事業特別会計

Q 中継ポンプ場維持管理に要する経費の増額理由は。

A 新規に小林中継ポンプ場設備の更新工事における詳細設計業務委託料として約1億円の増です。

■介護保険特別会計

Q 医療・介護連携推進会議委員の仕事の内容は。

A 委員12名。年3回実施し地域資源把握や情報共有、また、在宅医療と介護に関する講演会開催の検討を行います。

■水道事業会計

Q 水道水1mの供給単価は。

A 251・12円。

我がが市政を問う

一般質問

平成29年第1回定例会では2月17日から4日間、14人の議員による会派代表質問・個人質問が行われ、市政全般に対して活発な議論が展開されました。

ここでは紙面の関係でその一部を掲載いたします。この掲載記事は、各議員本人が作成したものです。

《一般質問とは》

議員が市政の方針や考え方を市長などに聞くものです。

会派代表質問

- 1. ひざし…………… P8
- 2. 公明党…………… P9
- 3. 日本共産党…………… P10
- 4. 響(ひびき)…………… P11
- 5. 北総志政会…………… P12
- 6. 新政…………… P13
- 7. 創進…………… P14

個人質問

- 1. 橋本 和治…………… P15
- 2. 海老原 作一…………… P15
- 3. 山本 清…………… P16
- 4. 玉木 実…………… P16
- 5. 伊藤 真一…………… P17
- 6. 小川 利彦…………… P17
- 7. 増田 葉子…………… P18

代表質問

ニュータウン事業50年・5地域包括支援体制は「ひざし」松尾榮子議員



機能が複合する北総地域の核都市の形成を指してきた。今年50周年だが、東洋経済

質問1 千葉ニュータウン事業は昭和42年の開始以来、今年で50年になる。残る課題は。市長 確認書に基づき、現在都市再生機構が残工事を進めているが、一部の公共施設について平成29年度までずれ込むことが見込まれている。また印西市域においては平成29年1月末時点で約155haが未処分となっており、早期処分が大きな課題である。

再質問 この半世紀、同事業が印西市の成長に果たしてきた役割と影響についてどう考えるか。答弁 千葉ニュータウン事業は、昭和61年の事業区域縮小、昭和63年の特定業務施設用地の導入など、時代に応じた計画の見直しを経て「住む」「働く」「学ぶ」「憩う」等の

新報社が行う住みよさランキング5年連続日本一など、市のポテンシャルは一定の評価を得ているものと考ええる。質問2 地域包括ケアシステムについて。3地域包括支援センターから5圏域5支援センター体制への進捗状況は。市長 平成29年4月より5圏

域に地域包括支援センターを設置し運営を開始する。現在、各圏域の委託法人が決定し事務引継ぎを進めている。再質問 在宅医療と介護の連携について。高齢化を迎え重い病気を抱えながら在宅で通院治療等に取り組む家庭も多くなる。患者自身も長期入院より、できれば気兼ねなく自宅で過ごしたいとの思いもある。看護、介護にあたる家族が安心して気軽にサポートを頼める体制づくりを、どのように早期に整備していくか。健康福祉部長 在宅医療・介護連携推進会議の中で、課題の抽出、対応策など検討を進める。平成29年度は年3回の開催を予定している。

- ◆その他の質問
○健全財政への取り組み
○印旛高校跡地活用について
○福祉避難所について
○こどもたちが安心して育ち学べる教育環境づくり

代表質問

男女共同参画社会 実現のための取り組み 「公明党」浅沼美弥子議員

質問 男女共同参画社会の推進について伺う。女性の活躍推進に向けた「印西市特定事業主行動計画」が昨年3月策定された。進捗状況は。市長 実績としては未だ出ていないが年度末に状況を把握検証し次年度以降に活かす。再質問 職員の意識調査は。市民部長 計画推進に資する調査項目を検討したい。再質問 計画の進捗管理は。答弁 推進本部等全庁的な組

織設置を念頭に置いている。再質問 国連機関のUNWIMenでは、男女の差別なく平等な権利、責任、機会を保障するジェンダー平等な社会を実現するための運動に積極的に男性も加わることを呼びかける「He For She」のキャンペーンを進めている。市も男性における男女共同参画の取り組みを促進してはどうか。市長 家事参加の促進や固定的性別役割分担意識の解消の啓発講座を開催。男性の意識改革は多様な価値観の醸成、職務における視野を広げるなど男性自身のキャリア形成にも効果的だ。今後関係課連携のもと施策推進を図る。



再質問 行政的メリットは。答弁 行政的メリットは、

市民部長 男性も多様な生き方、「仕事と生活の調和」が図れる。地域活動が進み地域の担い手増加につながる。再質問 男女共同参画週間の取り組みは。答弁 6月に市民活動団体と協働で家族の在り方を見直す講演会を開催する予定。再質問 市のアンケート結果では、家庭生活における家事分担の現状と理想にギャップがある。宮崎県日南市の家事ギャップ解消の取り組み等を実施する考えはないか。答弁 先進自治体の事例を調査・研究し検討を進める。再質問 工夫して家事ギャップ解消の啓発はできないか。答弁 「男の料理教室」などの講座の中で家事ギャップ解消に向けた企画を取り入れることを検討する。

- ◆その他の質問
○無電柱化の推進について
○部活動休養日設定について

会議録がインターネットで閲覧できます。

ホームページアドレス http://www.kaigiroku.net/kensaku/inzai/inzai.html



市議会だよりに掲載の審議内容や一般質問は、紙面の都合により要約してあります。会議録による閲覧に加え、インターネットによる閲覧ができますので、ぜひご覧ください。なお、会議録は次の場所で閲覧できます。第1回定例会の会議録は、6月上旬頃閲覧開始予定です。
◇議会事務局(市役所5階) ◇行政情報コーナー(市役所1階)
◇支所(印旛・本埜)
◇市内図書館6館(大森、小林、小倉台、そうふけ、印旛、本埜)

本会議がスマートフォン・タブレットでも視聴可能になりました



印西市議会では、インターネットによる本会議のライブ中継及び録画中継を実施しています。これまでパソコンからでしか視聴できなかった会議中継が、スマートフォン及びタブレット端末でもご覧いただけるようになりました。なお、録画中継は、ライブ中継終了後、通常4日後(土・日・祝日を除く)より視聴いただけます。

※Windows パソコンで視聴するには、Flash Playerが必要となります。Flash Playerのダウンロード(無料)はhttp://get.adobe.com/jp/flashplayer/から

年金あっても受けられない

生活保護の周知を

「日本共産党」山田喜代子議員

代表質問

質問1 生活保護制度を知らない為に受けられない世帯が多い。他国では5〜9割の世帯が受けているにも関わらず、日本ではわずか2割だ。印西市に至っては県内では最下位だ。年金を受けていても、仕事をしていても、家があっても生活保護を利用することはできないのだ。「広報いんざい」の掲載や、公民館、「コミュニティセンター」等のパンフレット置き場に置くことも一つの方法だ。広く周知する考えはないか。

健康福祉部長 市のホームページの他、「広報いんざい」も活用し効果的な周知に努めたい。

再質問 病院通院の際の交通費、布団、通学用の自転車、歩行補助の杖、ストーマ装具

の給付等々、これらの一時扶助の制度があることを周知することも必要だ。イラスト入りの説明書の作成の考えは。

答弁 よりわかりやすい説明に努める。

再質問 健康福祉部内に「福祉の総合窓口」を設置し、福祉サービス向上をはかるべき。滋賀県野洲市の「野洲市くらし支えあい条例」を参考にすることを考えはないか。

答弁 調査研究し、福祉サービス向上に努めたい。

質問2 中学校部活動に補助金の増額を。部活動への認識はどうか。

教育長 中学校生活において学習と並んで重要な位置にあると考え



る。自主性が発揮でき、やりがいをもって取り組み、部活動を通しての人間関係づくり、心震わせる感動体験により心身の健全な育成につながる教育的効果が期待できるものと考える。部活動参加で、目的意識をもって充実した学校生活を送るためにも支援の必要性も確認しているところだ。

再質問 補助金は1部活5万円だ。これを倍にしても、11部活×10万円×1千100万円だ。企業誘致推事業予算は1億3千万円を計上している。将来を担う子ども達、中学生生活は3年で終わる。ひとりあたりの補助金支給と共に増額を市長判断で行う考えはないか。

市長 前向きに検討する。

質問3 UR(都市再生機構)の空室利用で公営住宅としての活用を、URと協議をする考えはないか。

健康福祉部長 今後URを含めて話し合う。

よいのではないのか。

答弁 具体的な場所は未定だが利便性を考慮して検討していきたい。

質問3 行政組織規則に書かれていない業務等が生じた場合の対応は。

市長 総合調整や複数課にまたがる場合等内容により対応を分けている。また、事務促進に特化した場合や時限で対応すべきものは、課や室を設け対応する場合もある。

再質問 今年度新設する「資産経営課」の設置の経緯は。
総務部長 施政方針で話した通り、行財政改革を積極的に進めるに当たり、公共施設の統廃合、適正配置、長寿命化を行うため、総合調整を行う部署として新設する予定である。

◆その他の質問

- 「再任用制度」に関すること
- 「偽装請負」への対応に関すること

代表質問

7月からの住民票等

コンビニ交付サービス

「響(ひびき)」「金丸和史議員

質問1 マイナンバーカードの交付状況は。

市長 一月末現在で8千313通である。



出典：総務省ホームページ

再質問 今後の周知はどのように行うのか。

答弁 開始予定の7月に向け条例の一部改正を経て、広報紙やホームページで行っていく予定である。

再質問 政府広報CMで住民票等のコンビニ交付サービス

が受けられることが流れているが、通知カードで受けられると勘違いしているのでは。

市民部長 しつかりと準備し、様々な方法で広報したい。

質問2 パスポート発券業務の権限移譲について千葉県から通知等があるのか。

市長 説明会や実施時期に関する意向確認があった。

再質問 財源はどのように。
市民部長 印西市の交付実績は3千545件で県の交付金が380万円程になる。

再質問 成田市等との共同処理は考えているか。

答弁 現在は、単独で考えているが、よりよい窓口の開設に努めたい。

再質問 交付場所は、市民の利便性やアクセス特急停車等を考慮し、中央駅付近の方が

政務活動費収支報告の閲覧

領収証を含めた各会派の政務活動費収支報告書は、市役所1階行政資料コーナー(平成25年度分〜)及び市議会ホームページ(平成27年度分〜)にて閲覧できます。



「i 広報紙」が「マチイロ」にリニューアル!

※「i 広報紙」が9月中旬から「マチイロ」にサービス名を変更し、アプリがリニューアルしました。すでにご利用のみなさんは、アップデートでアプリが入れ替わります。



QRコードからもダウンロードできます。

スマートフォンなどで使えるアプリ「マチイロ」で議会だよりと広報いんざいをいつでも、どこでも読むことができます。

※このアプリケーションは(株)ホープが作成したものです。広告が掲載されますが、印西市とは関係ありません。

マチイロの利用やシステムの質問は(株)ホープ(☎092-716-1404)。

■始めるのは簡単です

App Store・Google Playから「マチイロ」を検索しダウンロード。

お住まいの地域のほか、簡単な設定をします。

広報紙が画面のトップに表示されます。最新の広報紙も配信されます。

■こんな使い方もできます

- 1 **かんたん** ホーム画面からタッチ一つで最新号が見られます。
- 2 **スクラップ** 気になる記事は画像で保存。そのままSNSでシェアもできます。
- 3 **プッシュ通知** 発行日にはスマートフォンなどに通知が届きます。

代表質問

地域資源を活用した振興策

「北総志政会」 藤代 武雄 議員

質問1 市制施行20周年記念事業の検証について伺う。

市長 実施事業の自己評価・検証を行って実績報告書を作成し、記念事業推進本部や記念事業推進市民会議で意見を伺って総括する予定である。

質問2 北千葉道路1期県施行区間が2月19日に開通したが、延伸に伴う課題を伺う。

市長 沿線住民の生活環境などに変化が生じることが懸念される。県による沿線生活道路の改修工事や、吉高蕪和田地先に出入口の設置など、沿線環境の向上に努めている。今後、暫定形から完成形への整備に伴う影響などを見据え、市として地元の発展や活性化に繋がるよう努めていく。



再質問 印旛沼周辺を活性化させて観光資源とするためにも、幹線道路の整備は重要だと考えるが、市の考えを伺う。

るうえで、幹線道路の整備について伺う。
市長 印西市総合計画、第2次基本計画に、市道師戸・江川線は地区幹線道路に位置づけられており、継続事業の早期完成に努め、その後、事業化に向けて着手する。

都市建設部長 計画地周辺には、県立印旛沼公園、八千代市から栄町に至るサイクリングロードである八千代印旛栄自転車道路もあり、印旛沼の自然や景観などの魅力を活かし人の往来を促進して地域の活性化に繋げていくためにも、市道師戸・江川線の果たす役割は大きいと考えている。

再質問 県と連携して、印西市側の印旛沼土手部分に、佐倉市・八千代市側と同様に自転車道路を整備する考えはないか伺う。

答弁 印旛沼の風景や自然を身近に親しむことができる自転車道路の整備は、印旛沼への意識を高め、地域の活性化に寄与するものであると認識している。まずは、千葉県に対して自転車道路の整備の要望をして参りたい。

◆その他の質問

- 教育施策について
- 職員管理について

代表質問

地域包括ケアシステムを

どのように進めるか

「新政」 軍司 俊紀 議員

質問1 「地域包括ケアシステム」の構築に向けて、平成29年度の予算策定方針は。

市長 第6期介護保険事業計画及び高齢者福祉計画に基づき、地域で地域包括ケアシステムを進めていくため、市内を5つの圏域に分け、圏域ごとに1箇所地域包括支援センターを設置し運営を開始する。また、在宅医療と介護連携の推進を図るため、医療・介護連携推進会議により、課題の抽出と対応策を検討する

他、在宅医療市民啓発講演会を開催し、在宅ケアに対する普及啓発に努める。認知症施策の推進では、認知症初期集中支援チーム検討委員会を立ち上げると共に、認知症初期集

症の方への支援体制を整える。介護予防、生活支援サービスについては、生活支援コーディネート・インネーターの充実を図り、いんざい健康ちよきん運動の更なる拡大に努める。

質問2 市内の小中学校は「指定避難所」となっているが、災害時に学校施設はどこまで開放されるのか。

教育長 「地震防災マニュアル」で、学校における避難所は、被災時の状況に応じて学

校長が判断するとなっている。
再質問 教育委員会はどこまで指定避難所に関するのか。
教育部長 災害対策本部が設置された場合、教育委員会は、

お知らせ

一般質問の閲覧

平成29年第2回定例会（6月議会）で予定されている一般質問（個人）の内容は、5月26日（金）以降、ホームページに掲載します。

陳情・請願

請願・陳情書はいつでも提出できますが、定例会ごとに提出期限をもうけ、審議を行っています。提出期限については、議会事務局にお問い合わせください。

「声の議会だより」をはじめます。

目が不自由など文字による情報入手が困難な方のために、「議会だより」をCDに録音した「声の議会だより」を「印西市社会福祉協議会」に委託し、今号から作成します。

配布を希望される方は、障がい福祉課（☎ 33-4639）までご相談ください。



代表質問

新クリーンセンター

建設計画を見据えて

「創進」櫻井正夫議員

質問1 一般廃棄物処理の資源物についてごみ排出の現状をどうとらえているか。

市長 資源物についても減少傾向にある。要因は、小売店などで実施している店頭回収や、民間回収が年々増えていることによる。

再質問 資源物は、どのようなものにリサイクルされているか。

答弁 ビン類は、新たなビンや土木材料に、カン類は新たなカンや自動車部品などの原料に、紙類は、新たな紙類の原料に、ペットボトルは、新たなペットボトルや衣類用の繊維に、プラスチック製容器包装はプラスチック製品やコークス用燃料の原料に、廃食油は、印刷用インクの原料に、小型家電は、鉄や銅、貴金属

の新たな製品の原料に、布類は、中古衣料として輸出されるもの、工業用の雑巾や断熱材の原料として生まれ変わる。

質問2 資源物の処理コストは種類毎にどうなっているか。

市長 環境整備事業組合によれば、平成27年度の金額でいうと、一キログラム当たりビ



ン類は、36・9円から37・8円、スチール缶では、58・5円、アルミ缶では、27・6円、紙類では、13・4円から16・6円、ペットボトルでは、58・2円、プラスチック包装では、60・1円となっているとのこと。

再質問 プラ容器包装が、一番高くなっているが、これは排出する市民の労力も多くなっている。会派で試算したところ一キログラム当たり125円となった。印西市ごみ処理基本計画に「循環型社会の形成」2Rの取組みと新たなリサイクルの仕組みづくりを目指して」とあるが新たな仕組みづくりについての展望はどうか。

環境経済部長 現在、「燃やすごみ」または「燃やさないごみ」などとなっているものについて、新たな資源物として、再資源化できるものがないかなど、他市町村等の事例を参考にしながら、引き続き印西市環境整備事業組合と協議・検討を進めていきたい。

個人質問

防火・防災体制の充実を

橋本和治議員

質問1 糸魚川大火を教訓として、本市における密集市街地の焼防止の施策を伺う。

総務部長 焼防止のため必要な消火栓や防火水槽などの消防水利の確保に努めている。

再質問 消防水利の確保に加え、具体的な消火のツールも必要だ。スタンドパイプを推進する考えはないか。

答弁 スタンドパイプは初期消火に有効と考えるので、導

入についても進めたい。

質問2 感震ブレイカーは、震災時に電気が原因となる火災対策に有効である。本市でも感震ブレイカーを推進する考えはないか。

総務部長 平成28年から感震ブレイカーの設置工事を補助対象として加え、防火対策及び住民の住環境の向上を図っている。



出典：経済産業省ウェブサイト (経済産業省ホームページより)

個人質問

ごみ減量 生ごみの水切りだけで効果あり

海老原作一議員

質問1 家庭系可燃ごみについて、第2次印西市ごみ減量計画における中間目標値を達成できたか。

環境経済部長 平成27年度の市民一人一日当たりの排出量は469グラムで、目標値397グラムに達していない。

再質問 達成できなかった理由をどのように考えているか。

答弁 市民へのごみ減量意識の浸透に時間が掛かっている。

再質問 市のごみ処理経費の削減効果という視点から、団体による有価物集団回収と行政回収ではどちらが優位か。

答弁 平成27年度実績の有価物回収量が全て行政回収となつた場合、約1千6百70万円の歳出増となり、有価物集団回収の方に優位性がある。

再質問 板倉市政の1丁目1番地の公約の一つであるごみ減量は、計画で掲げている目標値が達成できていない、公約実現にベストを尽くすべきと思うがどうか。

市長 今後、さらなるごみ減量を図れるよう力を尽くしていく。

質問2 65歳以上の高齢者の運転免許証の自主返納の実績はどうか。

市民部長 印西警察署管内で平成27年の1年間で197人、平成28年では、10月末で198人である。

再質問 運転免許証自主返納後の代替の交通手段確保が困難な方たちは、自主返納を躊躇すると思われる。そこで自主返納しやすい環境を整えることが重要と考えるがどうか。

答弁 自主返納後の代替の交通手段の確保や、様々な優遇措置が自主返納を促進できるものと考えている。また、高齢化が進展する中で、自主返納しやすい環境を整えることが重要であると認識している。

市民の声のモニターを募集中

議会だより編集委員会では、市民のみなさんから議会の活動等について、ご意見や感想をいただく「市民の声」のモニターを募集しています。(若干名)

ご協力いただける方は、議会事務局までご連絡ください。

【印西市議会事務局】 ☎ 0476(33)4614



消えている横断歩道

市は引き直さないのか

山本清議員

個人質問

質問 市内の道の横断歩道が消えていることよって、市民の命が危険にさらされていることについて、どのように考えるか。

市民部長 横断歩道の薄れにより、運転者に横断歩道があることが認識されにくく、このような横断歩道を利用する歩行者の安全を確保するうえでも、横断歩道の補修は早急にも実施しなければならぬものと考えている。市としては、千葉県市長会を通じ、横断歩道の補修への予算措置および



横断歩道の補修が早急に実施されるよう要望しており、市内の横断歩道の補修が早急に実施されるよう、引き続き印西警察署を通じ、県警本部に要望していく。
再質問 市議会ですら、私がこの問題を取り上げてから、4年ほど経過している。県警に要望しても、あまり改善されておらず、通学路では子どもが危険にさらされている。市が自ら横断歩道を引き直し、その費用を県に請求してはどうか。
市長 粘り強く県に要望していきたい。
再質問 通学路で子どもたちが危険に直面していることを、教育長はどう思うか。
教育長 私としても、自分で横断歩道の白線を引きたいような気持ちだが、ルールがあるので、県への要望を続けていきたい。

個人質問

家族農家へも

農業用機械代の補助が必要だ

伊藤真一議員

質問1 農業人口の推移についてどの様な認識を持っているか。
市長 農業経営者の高齢化、後継者不足、農産物の価格の低迷などが考えられる。市としてはその要因、それぞれに対する支援に取り組む必要があると認識している。

再質問 後継者問題についての市の取り組みについて伺う。
答弁 農業後継者や新規就農者などの担い手の確保・育成に努めている。
再質問 「担い手の確保・育成に努めている」と言うが、その実績はどの様になっているのか。

環境経済部長 制度スタートから8名の方が就農している。今度も認定農業者制度の活用を図り、担い手の確保・育成に努めていきたい。
再質問 印西市ではほとんどの農家は家族農家であり、多



くの家族農家へ、何が大変かを聞くと、農業用機械代が大変と、皆さんが言う。そこで認定農家だけではなく、家族農家へも農業用機械の補助について考えるべきではないか。
国・県へ条件の緩和を求めるべきではないか。
答弁 いまのところ、市として単独で助成を行うことは難しい。

◆その他の質問

- JR成田線の安全運行対策
- 小林「横須賀踏切」の改善

上下水道事業の現状と

将来展望について

玉木実議員

個人質問

質問 昭和42年千葉ニュータウン事業が開始して以来、五十年が経過した。いよいよニュータウンの内野・原山地区も今年から下水道管の交換作業に取り掛かる。少子化・就労人口減少傾向が進む現状でも、インフラ事業のメンテナンス作業は今後も更に重要度が増してくる。持続可能な財政基盤の確立を目指し、行政改革の推進が必要だ。



市長の市政方針にも記載された、下水道事業の地方公営企業法の適用について、印西市の取組スケジュールはいかに。
都市建設部長 平成32年度からの適用に向け取り組んでいる。
再質問 平成27年に総務省から「公営企業会計の適用の推進について」の通達が出た。進捗状況はいかに。
答弁 関係課の主任職を集めて「下水道事業地方公営企業法適用検討会」を設立し検討を始めた。
再質問 平成32年度から、公営企業会計に完全移行するよう要請されているが、「移行準備室」は用意するのか。
答弁 平成29年度からの「移行準備室」の設置は無い。
再質問 既に公営企業会計を適用している水道事業との統合推進の考えはあるか。
答弁 現在検討している。

個人質問

印西市の安心安全な

街づくりについて

小川利彦議員

質問1 自動体外式除細動器(AED)の市内の設置について伺う。
健康福祉部長 市役所・支所保健センター・市内小中学校など、79施設85台を設置している、民間施設にはイオンモールなど101施設127台が設置されている。市では、コンビニエンスストアへ設置できるように、協議を行う予定だ。

再質問 千葉県が条例化したことによる、市町村の役割部分に関する勉強会等はどうか。
健康福祉部長 市としては、千葉県が条例に基づき「基本計画」を策定するので、その内容等について確認する予定だ。
質問2 防犯灯等の道路照明について伺う。

市長 防犯灯は、道路における夜間の犯罪の防止及び通行の安全を図るうえで、大変重要なものと考えており、その

設置につきましては、「印西市防犯灯設置等に関する基準」に基づき、行っている。防犯灯に係る電気料金削減と老朽化している器具の改善を図るため、計画的にLED化を進めているところだ。
次年度以降の設置計画は、町内会・自治会等から要望をいただいた箇所の現地調査等を行い、必要に応じて設置をしていく予定だ。

再質問 電気料金削減としてソーラータイプの防犯灯にする考えはないか。
市民部長 ソーラータイプの防犯灯の性能等について、メリット・デメリットなど、研究していく予定だ。

◆その他の質問

- 市道の状況について
- 高齢者への対応について
- 市内の小中学校の統廃合について

市で取り組むべき「働き方改革」

個人質問

増田葉子 議員

質問 担当大臣がおかれるほど、「働き方」は国をあげての大きな政策課題となっている。市ではひとり親家庭、高齢者、障がい者、生活困窮者など制度ごとに「就労支援」に取り組んできたが、現状はどうか。

健康福祉部長 ひとり親家庭の就労支援では、就職に有利な資格取得を支援する給付金を実施しており、昨年度は1名が常勤で就職した。障がい者の就労支援では、相談員を配置し受入れ企業の開拓など、関係機関と連携して取り組んでいる。生活困窮者の就労支援の実績は、今年1月末で正規雇用は4人だ。

再質問 固定資産税相当の補助金を交付する「企業立地促進条例」の雇用促進奨励金の成果はどうか。

環境経済部長 市民20人が正規雇用となっている。障がい者の実績はない。

再質問 「子どもの貧困」が話題になっている。経済的理由で教育の機会に差が出ないように、印西市でも高校の修学奨励金が予算化された。一方で親の世代が取り残されないように、就労支援に取り組みなければならぬ。就労支援は、ただ仕事を紹介するだけでなく、一人ひとりに対応できる専門のスキルをもったスタッフがどの分野でも必要となる。特にひとり親家庭への支援は十分な体制がとれていないと感じる。印旛高校跡地に整備予定の(仮称)障害者サポートセンターで、制度の垣根を超えた総合的な就労支援ができないか。

健康福祉部長 福祉の縦割りを取り払い、相談窓口一元化の動向は認識している。モデル事業などの情報を収集しながら、調査研究を行っていきたい。

委員会視察報告

「開かれた議会」・「議会の見える化」を目指して

議会運営委員会

平成29年1月18日・19日の2日間、大阪府大東市議会及び滋賀県大津市議会を訪問した。

大東市は平成28年に市制施行60周年を迎え、西は大阪市、東は奈良県に接する人口12万3千人の市である。大東市議会は、平成3年から議会活性化に向けて様々な取り組みを行なっている。



【政策意見交換会】は、議会が、市民の代表者、各種団体などから、提案・要望を聞くために開催し、検討した後、市政に反映させるよう提言することを目指す。【出前議会報告】

「開かれた議会」は、市民と議会をより近づけるために開催し、市民の意見を積極的に聞くことにより、議会審議に反映させることを目的としている。「開かれた議会」を目指した運営方法、改善等に対する取り組みについて大いに参考となった。

大津市は全国で10番目の古都指定を受ける、人口34万人の中核都市である。大津市議会が平成27年に策定した議会版実行計画「大津市議会ミツシヨロードマップ」が注目を集めている。計画の策定によって、議会活動のビジョンを共有し、議会力を高め、市民への説明責任を果たし、議会の「見える化」を推進することを目指している。

計画当初から関わった議員から直接説明があり、今後の議会運営に参考となる事項が多岐にわたり、実り多い視察であった。

平成29年第1回定例会 議案と審議結果一覧

※○=賛成、×=反対、退=退席、欠=欠席、除=除斥 ※議長(小川義人)は採決に加わりません。
※賛否が分かれた議案のみ掲載いたしました。

番号	件名	議決結果	伊藤真一	稲葉健	小川利彦	玉木実	米井重行	櫻井正夫	浅沼美弥子	岩崎成子	海老原作一	近藤瑞枝	酢崎義行	藤代武雄	増田葉子	松尾榮子	山本清	軍司俊紀	金丸和史	板橋睦	山田喜代子	橋本和治	小川義人	
《議案》(市長提出議案)																								
議2	印西市印鑑条例の一部を改正する条例の制定	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
議7	印西市税条例等の一部を改正する条例の制定	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
議19	平成29年度印西市一般会計予算	可決	×	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
議20	平成29年度印西市国民健康保険特別会計予算	可決	×	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
議21	平成29年度印西市下水道事業特別会計予算	可決	×	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
議22	平成29年度印西市介護保険特別会計予算	可決	×	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
議23	平成29年度印西市後期高齢者医療特別会計予算	可決	×	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
議24	平成29年度印西市水道事業会計予算	可決	×	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—

全会一致議案一覧

《議案》(市長提出議案)	
議1	印西市犯罪被害者等支援条例の制定
議3	職員の分限に関する手続及び効果に関する条例の一部を改正する条例の制定
議4	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定
議5	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定
議6	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定
議8	印西市手数料条例の一部を改正する条例の制定
議9	印西市立学童クラブの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定
議10	印西市介護保険条例の一部を改正する条例の制定
議11	印西市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定
議12	印西市消防団の設置、消防団員の定員、任免、服務等に関する条例の一部を改正する条例の制定
議13	印西市水道事業企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例の制定
議14	平成28年度印西市一般会計補正予算(第5号)
議15	平成28年度印西市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
議16	平成28年度印西市下水道事業特別会計補正予算(第3号)
議17	平成28年度印西市介護保険特別会計補正予算(第4号)
議18	平成28年度印西市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
議25	印西市道路線の変更
議26	印西市道路線の認定
議27	和解及び損害賠償の額を定めること
議28	和解及び損害賠償の額を定めること
《議案》(議員提出議案)	
発議1	印西市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定

発議案

▼「印西市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定」について **〔可決〕**

平成11年4月1日から、経常経費削減策の一環として、議員が公務のため旅行したときの日当について、特例措置を設け支給しないこととしてきたが、恒久的に日当に係る経費を削減するため、日当を廃止するもの。

陳情

▼「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書

▼「ごみ出し支援ふれあい収集事業の実施を求める陳情書」

▼「市民からの陳情に対して十分な審議を求める陳情書」

▼「北総鉄道株式会社と千葉ニュータウン鉄道株式会社の鉄道施設等使用協定の更新に際し、路線使用料の縮減のため、市長への働きかけを要請する陳情書」

各常任委員会の審査

印西市議会では、全ての議案を委員会において審査することを原則としています。
2月24日に予算審査常任委員会（補正）、2月27日から3月2日までは予算審査常任委員会（当初）、3月3日に総務企画常任委員会、3月6日に文教福祉常任委員会、3月7日に建設経済常任委員会をそれぞれ開催しました。

ここでは、紙面の関係により、委員会で行われた議案の主な質疑及びその答弁の一部を掲載します。

学校統合：市立学童クラブ 設置は小学校単位で 文教福祉常任委員会

【印西市立学童クラブの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について】

【内容】学校の統合に伴い、市立永治学童クラブを市立木刈学童クラブに統合するもの。

質疑 永治地区児童の自宅に近い永治学童クラブを残す選択肢は無かったか。

答弁 議論はあったが、小学校単位での学童クラブ設置が基本的な市の方針である。

質疑 29年度、永治地区からの利用児童は何名か。

答弁 新1年生1名の

申し込みがあった。

【審査結果】

●印西市立学童クラブの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について 〈可決〉
●印西市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について 〈可決〉



委員会録画中継 議会改革推進 特別委員会

このたび、「委員会ネット中継」を実施することとなりました。

開始時期については、平成29年第2回（6月）定例会を目標に準備を進めておりますが、準備が整わない場合は第3回（9月）定例会からの開始となります。

また、方式については、委員会の性格等を考慮のうえ、当面は、「録画方式」を採用し、実施する予定です。

議会改革推進特別委員会では、今後も「より開かれた議会」を目指してまいります。

犯罪被害者等の支援を

総務企画常任委員会

【印西市犯罪被害者等支援条例の制定について】

【内容】市における犯罪被害者等の支援に関する基本理念及び当該犯罪被害者等を支援するための施策について定めるもの。

質問 犯罪による傷害ということで、外傷のみなのか。

答弁 見舞金については、身体に対する被害というものに限定し、精神的なもの、疾患については国の犯罪被害者給付制度、給付金で、対応していたかどうかを考えている。

【審査結果】

●印西市犯罪被害者等支援条例 〈可決〉
●印西市印鑑条例の一部を改

正する条例の制定 〈可決〉

●印西市税条例等の一部を改正する条例の制定 〈可決〉

●印西市消防団の設置、消防団員の定員、任免、服務等に関する条例の一部を改正する条例の制定 〈可決〉

●職員の分限に関する手続及び効果に関する条例の一部を改正する条例の制定 〈可決〉

●職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定 〈可決〉

●職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定 〈可決〉

●特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定 〈可決〉

設計事務・契約事務の 常なる改善を図り再発防止を 建設経済常任委員会

【和解及び損害賠償の額を定めることについて】

【内容】舗装改良工事について、市は設計の誤りにより入札を無効とし契約解除したため、相手方に生じた損害を賠償し、和解するもの。

質疑 今後の再発防止にどう取り組むのか。

答弁 積算設計条件シートを使用したチェック体制の強化、研修による担当者のスキルアップ、入札時の閲覧図書改善の対策を行っている。また、開札後、落札者を決定せず、落札候補者とし、積算の疑義申し立て制度を作り、違算による契約の解除が生じないよう改善した。制度としては、印西市建設工事等に係

る設計違算に関する事務取扱要綱、印西市建設工事等の入札に係る積算疑義申立て手続きに関する要綱、印西市建設工事等の金額入り設計書の交付に関する事務取扱要綱の3件の要綱を制定し、施行している。

【審査結果】

●印西市手数料条例の一部を改正する条例の制定 〈可決〉

●印西市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定 〈可決〉

●印西市道路線の変更〈可決〉

●印西市道路線の認定〈可決〉
●和解及び損害賠償の額を定めること（2件） 〈可決〉

平成28年度議員の出欠簿を公開します

本会議は定例会が4回開催されました。

次に、委員会については常任委員会（総務企画・文教福祉・建設経済・予算審査）、議会運営委員会及び特別委員会（議会改革推進・決算審査・花火大会中止問題等調査特別委員会）が開催されましたが、すべての議員が同じ委員会の委員になることはなく、また各委員会ごとに開催回数が異なるため、出席必要日数も各議員によって異なります。

また、正副議長も各委員会等に随時出席していますが、出欠簿には記載してありません。

議席番号	議員氏名	本会議			常任委員会			議会運営委員会			特別委員会			全員協議会		
		出席必要日数	欠席日数	遅刻・早退 外出	出席必要日数 (視察含む)	欠席日数	遅刻・早退 外出	出席必要日数 (視察含む)	欠席日数	遅刻・早退 外出	出席必要日数	欠席日数	遅刻・早退 外出	出席必要日数	欠席日数	遅刻・早退 外出
1	伊藤 真一	26			12	4	1			11			6	1		
2	稲葉 健	26			11					20			6			
3	小川 利彦	26			16					20	1		6			
4	玉木 実	26			16	1						6				
5	米井 重行	26			11					16	1	1	6			
6	櫻井 正夫	26	1		11							6				
7	浅沼美弥子	26			11			17		20			6			
8	岩崎 成子	26		1	15			17	3	7	1		6			
9	海老原作一	26			11			17		9			6			
10	近藤 瑞枝	26			11					13			6			
11	酢崎 義行	26			11			15	1				6			
13	藤代 武雄	26			15			17		7			6			
14	増田 葉子	26			11	2				4			6	1		
15	松尾 榮子	26		1	11			17		4			6			
16	山本 清	26	5	1	10	2	1						6	3		
17	軍司 俊紀	26			16					4			6			
18	金丸 和史	26			15			17		16			6			
19	板橋 睦	26			11		2 (公務)						6			
20	山田喜代子	26			15			17		9			6			
21	橋本 和治	26			11	1	1						6			
22	小川 義人	26			7								6			

愛知県長久手市議会会派「長久手グローバルネット」が視察に来庁



平成29年2月16日(月)、議員3人が視察に訪れ、「牧の原小学校の概要」について、教育総務課から事業説明を行い、施設をご案内しました。

新潟県加茂市議会「社会厚生常任委員会」が視察に来庁



平成29年2月7日(火)、議員5人が視察に訪れ、「病児・病後児保育」について、印西総合病院担当者、保育

議会だよりの

リニューアルにあたって

議長 小川 義人



印西市議会だよりは、今号から、用紙サイズをタブロイド判からA4判へと変更いたしました。このたびの変更は、市民の手にとりやすさを主眼に置いたものです。市議会の紙面による広報については、試行錯誤してきましたが、思い切つて用紙サイズを変え、紙面構成を見直すことにより、市民への発信力をより強めていきたいと考えております。今回の変更にあたっては、橋本副議長を中心とした議会だより編集委員会が、市民の方々の声を聞き、議会広報紙の先進地への視察研修や委員会での度重なる協議を重ねて、ひとつの形にしたもので

す。ときには、議会だより編集委員会の中でも、意見がぶつかったことがありましたが、市民のみなさまに「いいものをお伝えしたい」と思いがあつたからこそと思えてなりません。今後も紙面内容を常に見直し、「伝える広報」を努めてまいりますので、温かく見守っていただければ幸いです。

また、情報発信に関しては、本会議のインターネット中継を行つていきます。6月の第2回定例会からは、当初は録画となりますが、委員会の様子もインターネットで配信してまいります。いつでもどこでも、市議会の情報をとることのできる環境づくりに今後も努めてまいります。

編集後記

2月15日から3月16日まで30日間の会期で開催された平成29年第1回印西市議会定例会が終了しました。

議会だより編集委員会では、市民の皆様が手に取りやすく、読みやすい広報紙を目指し調査研究を行ってきました。コンクール等で優秀な成績を収めている先進地への研修、委員会での意見交換等を実施し、今号より皆様にリニューアルした議会だよりをお届けすることができました。

リニューアルした議会だよりは、いかがですか。議会活動を身近に感じていただけましたか。

当編集委員会は今後も、より良い紙面づくりを目指して参ります。市民の皆様のご意見をお寄せください。(S・I)

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 橋本 和治 |
| 副委員長 | 藤代 武雄 |
| 委員 | 米井 重行 |
| 委員 | 岩崎 成子 |
| 委員 | 松尾 榮子 |

市民の声

『選挙権について
考えること』

千葉県立

印旛明誠高等学校

3年 沼上 優



4月から3年生になった私たちは、新たに選挙権を得ることになります。今まで20歳以上にだけ認められていた選挙権を18歳で得ることを知ったとき、私は正直とても不安でした。私の一票はとても小さなものだと思います。しかしその一票がなければ何も決まらないうとしたら、それはとても大切なものです。印西市は自然あふれる素敵な市です。千葉二ユータウンが栄え、小

学校も増えてたくさんの人たちが住み、最近では住みよさランキングで第一位にもなりました。こんな素敵な市なので、市議会や市役所の皆さんを中心に、さらに魅力ある町に発展させてほしいと思っています。

私たちの世代の意見としては、北総線の料金をもう少し低くして、公共バスの本数を増やしていただきたいことなどがありませんが、こればかりは私たちの意見がすべて通るわけではなく、いろいろな組織や団体との調整が必要だと思います。市議会や市役所の皆さんにすべてまかせようとするのではなく、私たちも市民の一人として積極的に市について考え、大切な一票を活かし、発信していくことを心がけたいと思います。

議会を傍聴してみませんか

第2回 定例会会期予定及び日程

次の定例会は、6月2日(金)～6月22日(木)までの会期予定です。午前10時からとなりますので、5階議場にお越しください。

なお、都合により変更になる場合もあります。詳細については、お問い合わせください。



いんざい君©
2011 Inzai City

日	月	火	水	木	金	土
5/21	5/22	5/23	5/24	5/25	5/26 議会運営委員会	5/27
5/28	5/29	5/30	5/31	6/1	6/2 本会議 (議案上程)	6/3
6/4	6/5	6/6 本会議 (個人質問)	6/7 本会議 (個人質問)	6/8 本会議 (個人質問)	6/9 本会議 (個人質問)	6/10
6/11	6/12 予算審査 常任委員会	6/13 総務企画 常任委員会	6/14 文教福祉 常任委員会	6/15 建設経済 常任委員会	6/16	6/17
6/18	6/19	6/20	6/21 議会運営 委員会 正副委員長会議	6/22 本会議 (議案の採決)	6/23	6/24

※常任委員会等の開会時間はお問い合わせください。

「いんざい市議会だより」の一面に掲載する写真を募集しています。

【題材】印西市の四季折々の風景 【応募資格】市内在住、在勤または在学の方
詳細については議会事務局までお問い合わせください。

【印西市議会事務局】 ☎0476-33-4614

